

# 石碑巡り



坂出市沙弥島にある  
柿ノ本人麻呂の石碑

作家中河与一が建立しました。



坂出市白峰寺にある  
「漂泊の歌人」西行法師の歌碑

碑には保元の乱で敗れ、讃岐に流されて一生を終

えた崇徳上皇の墓を訪れたときの歌が刻まれています。

よしや君 昔の玉の床とても  
かからん後は 何にかはせむ



さぬき市の県立石田高校の校門前にある西行の歌碑

新古今和歌集に入っている有名な歌です。

道のべに 清水流るる  
柳かげ しばしとてこそ  
立ち止まりつれ



金刀比羅宮にある小林一茶の句碑

一茶は江戸時代の俳人で、「雀の子そこのけそこのけお馬が通る」などの句を多く残した人です。寛政3（1791）年 四国を訪れました。

おんひらひら 蝶も 金比羅参哉



屋島山頂にある石森延男（北海道生まれ）の句碑

「コタンの口笛」で第1回小川未明賞を受けた児童文学者として有名です。香川師範学校（現在の香川大学教育学部）の教え子達

が中心となって文学碑が建てられました。

きみたちも 虫も歌って 月はるか



日本最大のため池、満濃池にある空海の業績を記す石碑



県立丸亀高校の校内にある香川不抱の歌碑

丸亀市に生まれ、与謝野鉄幹・晶子の愛弟子になりました。香川新報社（四

国新聞社）の記者でもありました。

吾ここに ありと叫びぬ 千よらずの  
中の一つの 星と知りつつ



一夜庵（観音寺市）にある山崎宗鑑の句碑

宗鑑は室町時代に俳諧の祖といわれた人です。一夜庵を建て、89歳で亡くなるまでの26年間ここに住みました。

かし夜きの  
袖をや霜に  
はし姫御



一夜庵



小豆島（内海町）にある詩人壺井繁治の石碑

石は  
億万年を黙って  
暮らしたつづけた  
その間に 空は晴れたり  
曇ったりした

この他にも多くの石碑が各地に建てられています。碑文を調べ、ふるさとにゆかりのある人々の業績や歴史を学びましょう。